

大都市横浜が花と緑で溢れています！ ～全国都市緑化よこはまフェア、2017日本フラワー&ガーデンショウ～

横浜市では今年、日本フラワー&ガーデンショウとともに全国都市緑化フェアが開催されています。本県では平成20年に全国都市緑化フェアが開催され、それを機に現在では各市町村持ち回りで「花と緑のぐんまづくり」が行われていますが、同フェアをはじめ横浜市における花き園芸に関する事例を参考にして、花や緑への理解やふれあいの場作りへの機運が高まることが期待されます。

第33回 全国都市緑化よこはまフェア

- 日時/2017年3月25日(土)～6月4日(日)
- 会場/みなとガーデン(横浜赤レンガ倉庫、横浜公園、山下公園ほか)
里山ガーデン(横浜動物の森公園植物公園予定地)
- 主催/横浜市、公益財団法人都市緑化機構

1983年から全国各地で毎年開催されている花と緑の祭典「全国都市緑化フェア」が現在横浜市で行われており、都心臨海部会場である「みなとガーデン」と郊外部会場である「里山ガーデン」の2つの会場が多くの花と緑で彩られ、また来場者が花や緑をはじめ里山とふれあい楽しむ機会を作っています。

大都市横浜を象徴する都心臨海部が豪華な花壇で華やかに

みなとガーデン会場では、横浜を代表する観光地・横浜赤レンガ倉庫や、横浜スタジアムに隣接する横浜公園を中心に、花壇やミニ庭園が設置されそれぞれのテーマにちなんで花と緑が装飾されています。そのほか、自治体や企業、団体、大学などが出展、制作した16～30㎡程度の庭園もいたるところに設置され、まさに大都市が花に囲まれ、花に彩られる約2か月となっています。

第27回 2017日本フラワー&ガーデンショウ

- 日時/4月1日(土)～3日(月)
- 会場/パシフィコ横浜展示ホール(神奈川県横浜市)
- 主催/日本家庭園芸普及協会

日本フラワー&ガーデンショウは、一般の方々に対して家庭園芸の普及と底辺拡大を図ること目的とした「総合園芸パブリックショウ」で、花と緑の展示のほか、各種体験型イベント、関連商品の販売、情報発信等を行っています。横浜で開催された今回のテーマは「花を楽しみつくす」、テーマフラワーは「バラ」で、入口正面にはバラやアジサイ、デルフィニウムなどを使った展示コーナーも設置され、来場者を出迎えていました。

花き園芸業界が一丸となった「花を楽しみつくす」取組が目白押し！

会場には、花の最新品種展示及びその人気投票、花育や花と緑の職業体験(花屋、ガーデンデザイナー、植木屋など)、ガーデンコンテスト等のほか、種苗や肥料農薬の大手メーカーによる商品紹介の出展もあり、業界一丸となって裾野を広げる取組が行われていました。

その中には「花のバーカウンター&カフェ」と称して、エディブルフラワー(食用花)を使ったオリジナルのカクテルやスイーツを多くの花に囲まれながら楽しめるコーナーもあり、テーマどおり「花を楽しみつくす」内容が目白押しとなっていました。



会場の一つである横浜公園



横浜赤レンガ倉庫にできた中庭



テーマフラワー「バラ」を中心に展示



カネコ種苗によるナadeshikoの品種展示



神奈川県園芸協会による県内育成品種の紹介



エディブルフラワーのカクテル